

平成 26 年 4 月吉日

検査部門責任者各位

公益社団法人 東京都臨床検査技師会  
データ標準化委員会委員長 荒木 秀夫

日臨技精度保証施設認証制度に関するアンケート調査協力お礼

謹啓 陽春の候、貴施設におきましては、ますますご隆昌のこととお慶び申し上げます。  
また、平素は当会活動へのご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、過日ご協力頂きました標記アンケートですが、集計作業が終了しましたのでご  
報告申し上げます。なお集計結果につきましては日臨技へ提出し、今後の精度保証施設認  
証制度事業に対する参考資料として活用頂く予定です。

ご多用中のところ、ご協力まことにありがとうございました。

謹白

## 「都臨技精度管理調査参加施設」精度保証施設認証制度に関するアンケート結果

※ ( ) ⇒ 回答施設数

Q 1. 精度保証施設認証制度を取得していますか

- 23,24 年度取得 → Q 4 へ (7)
- 24,25 年度取得 → Q 6 へ (15)
- 25,26 年新規申請 → Q 6 へ (7)
- 未取得 → Q 2、Q 3 へ (47)

Q 2. 未取得の施設にお聞きします。未取得の理由は何ですか（複数選択可）

- 本制度を知らなかった (5)
- 都道府県実施の外部精度管理調査に参加していなかった (5)
- 外部精度管理調査（日臨技、都道府県）の評価が許容範囲になかった (2)
- 生涯教育の履修が終了していなかった (17)
- 精度管理に関する研修会に参加していなかった (10)
- 申請費用 5 万円の拠出ができなかった (12)
- 本制度にメリットがないと感じたため (16)
- その他（具体的に記載してください） (6)

( )

Q 3. 貴施設では、つぎのどの条件で申請しますか（1 つだけ回答）

- 審査基準を満たした時 (14)
- 申請費用 5 万円が承認された時 (6)
- 本制度が診療報酬に反映された時 (16)
- その他（具体的に記載してください） (11)

( )

Q 4. 23,24 年度取得施設にお聞きします。

- 25,26 年度更新した → Q 6 へ (7)
- 25,26 年度は更新しなかった → Q 5 へ (0)

Q 5. 25,26 年度更新しなかった理由をお聞かせ下さい（1 つだけ回答）

- 審査基準を満たさない要求事項があった (0)
- 更新費用 5 万円が拠出できなかった (0)
- 更新するメリットを感じなかった (0)
- その他（具体的に記載してください） (0)

( )

Q 6. 精度保証施設の認証をした場合、どのような意義があるとお考えですか  
(複数選択可)

- 社会的な評価が高くなる (21)
- 施設内での評価が高くなる (19)
- 精度の担保の証となる(質の向上に繋がる) (48)
- 外部(第三者)評価を受けることは望ましい (40)
- その他(具体的に記載してください) (5)

( )

Q 7. 施設認証制度の普及に向けての、ご意見をお聞かせください

( )

ご協力ありがとうございました。

**【アンケートへの質問および回答送信先】**

日本大学医学部附属板橋病院 臨床検査部

荒木 秀夫

TEL : 03-3972-8111 院内 PHS : 8373 内線 3088

メール : araki.hideo@nihon-u.ac.jp

※アンケート送信期限：平成 25 年 10 月 18 日 (金)

## Q2、その他のフリーコメント

1	検査室が小規模の為
2	脂質検査を院内で行っていないため
3	ブランチ業務なので病院からの要望がないと取得できないため
4	院内での申請費用供出の煩わしさより、いずれ習得すれば良いと考え、時期をのがしていた
5	5万円拠出できないのではなく、5万円は高過ぎるから
6	取得のハードルも低く、認証という名称が何の役に立つのかわからない。内部精度管理、外部精度管理をしっかりとやっているので認証してもらの意味もない。

## Q3、その他のフリーコメント

1	本制度取得の意義が何か？ 解らない
2	この制度が広く世間に認知され、精度保障施設認証がないと病院の検査室としての価値が得られない場合、もしくは診療報酬に反映された場合でいずれにしろその価値が広く認知された際委には申請したいと思う。
3	経営側で必要と認めたとき
4	法的義務が課せられた時
5	脂質検査を院内で行ってから
6	H22 年度より日臨技サーベイに参加。本年度申請予定。
7	病院機能評価等、認定取得の必要性が生じたとき
8	生涯教育の履修および精度管理に関する研修会に参加できないため申請できない
9	病院からの要望があった場合
10	当院は平成 26 年 10 月に新病院へ移設となるので、その時と考えています。
11	申請費用が 1~2 万円程度なら、あるいは申請費用が無料であれば。

## Q6、その他のフリーコメント

1	今後の管理加算等診療報酬の流れ、現在の取得施設数を鑑み取得しておくことが望ましいと考える。
2	認証書（楯）が立派で検査室受付に飾るのに良い 他はサーベイの参加証だが、これは名称が良い
3	どのような意義が、どの程度あるのかが不明なため未取得
4	現状では意義を感じない。
5	特にないと思う。

## Q7、コメント一覧

1	申請費用 5 万円の理由が解りにくい。また 更新費用についても理解しがたい。 目的が何なのかまだ理解できていません
2	貴会施設認定制度は中小医療施設にとって経費も高くなく第三者の認証が得られる点、また患者にとっても検査値の信頼性が第三者により認証されていることは意義が大きいとおもいますが、医療経営者ならびに患者に対する認証の意義を PR する活動（たとえば認証施設に貴会の認証制度活動や認証書の意義などを説明したパンフの掲示等）。また、本認証書はどの検査分野が認証されているか不明でこの辺のところも一考余地ありではと思います。
3	世間の認知度を上げる必要があると思います。 認知度が上がれば、事務側にも話しやすいです。 また、認定料を下げてでもいいのではないかと思います。 取得によるメリットが分かりにくいです。
4	認証を受けるために支払う金額、生涯教育のポイントなど少々ハードルが高い気がします。 ただ、日臨技や各地方の技師会のサーベイで良好な成績というだけで認証されてしまうようでは、認証の価値が下がってしまうと思われるので、生涯教育のポイントなどは外せませんが、せめて金額が下がれば、もう少し認証を受ける施設が増えるのではと思います。
5	施設認証制度そのものに付加価値を与えないと認証取得施設を増やすことは難しいと思う。精度管理に関しては医師会、技師会のサーベイがあるので、わざわざ施設認証を 5 万円もかけて取るのは、金銭面でも難しい。 もう少しダンピングをするか、診療報酬に反映させるかだと思う。 今の時点で施設認証を取っても、大きなメリットは得られないので事務方に交渉する理由を見つけられない。
6	5 万円の費用に対する具体的なメリットを上層部へ説明することが難しく次回の更新は見送ることにしました。
7	施設認証制度を普及させるには社会的評価を高める必要があると考えます。その為には、本制度の意義と認知を広める為の広報活動を広い範囲で積極的に行う必要があると考えます。
8	・生涯教育は不可欠ですが、業務体制から、参加には苦慮しております。
9	精度保障が診療報酬に反映されることを望みます。
10	生涯教育の履修制度の緩和。 生涯教育の履修制度以外の施設認定。 日臨技以外の参加精度管理での施設評価等。

1 1	現在、医師会のサーベイと都臨技のサーベイに参加しておりますが、 私ども小規模な検査室には日臨技のサーベイのハードルが高く、なかなか参加できないしております。私の理解が違っているかもしれませんが、生化学のみ、血液のみで認証されるのであれば、取得を目指すことも可能だと思われるのですが。
1 2	新規事業のため、種々の方法による周知の努力継続が必要と思います。
1 3	1. 更新費用の5万円が高すぎるため普及しないのではないのでしょうか。 2. 取得のメリットがないように感じられます。
1 4	生涯教育の要件を、無くして欲しい。
1 5	やはり、何らかの形で診療報酬に結び付かないと、中小病院における普及は難しく、病院側の理解も得づらいと思います。そのためには、検体検査管理加算申請時の一つの条件とすることなどが最も身近な内容になるものと思われる。
1 6	精度管理調査には参加しており、結果（評価）については気にしていても、施設認証制度の認識、興味を持っている者が少ない。施設内で技師会の活動を中心に行っている者も同様である。 精度管理報告会、学会のセミナーも行われているが、既に興味があり参加している層以外へのアプローチが必要だと思われる
1 7	勉強会、学会等の参加ポイントに関して、日臨技以外の学会等の参加でも継続的な教育としてとらえてもらいたいです。 《精度保証》の妨げとはならないと思います。
1 8	診療報酬の「精度保証施設加算」など何らかのインセンティブがあると良い。
1 9	検査データの信頼性を維持管理していくために、当検査室でも日々努力を行っております。しかし、本制度取得にあたり、具体的なメリットが見出せない中、5万円の申請費用の承認を得ることは難しい現状があります。
2 0	日臨技の施策と現場の考え・実情に乖離が認められます。 現場の意見がもっと反映されたシステム、制度改革を示して欲しい。
2 1	精度管理については適正な方法とタイミングで行っているつもりであるが、コストも労力も甚大である。経営側に精度保障の重要性をうまく伝えないと、コントロール費用までも削減されかねない状況もありうる。臨床検査を軽視させないためにも、医療の質の向上には正確な臨床検査データが不可欠であることを周知するためにも、是非施設認証を受けたいと考えている。
2 2	業務形態や人数の制約があり 生涯教育の履修および精度管理に関する研修会に参加できないため申請できない。日臨技や医師会のサーベイで高成績を取得しているのに、上記条件が足かせになっているので、今後とも申請できないでしょう
2 3	ある施設の方から、費用が高すぎるとの意見を聞いたことがあります。
2 4	更新を5年程度に延ばして、欲しい。（金額が高く、5万円であれば、金額的に5年程度と思う。また、2年は書類の準備に忙しい。）

	診療報酬も付くと、普及も進むと思う。
25	都臨技サーベイに置いて、日臨技のサーベイ参加証による提出書類免除の仕組みにしてほしいです。
26	現在、ISO15189 取得への働きかけが強く ISO を取得した場合の施設認証の価値感が問われると思います。ISO の説明会で日本の病院検査室で行われている精度管理は世界的にも高い水準だがそれを知らしめる制度が世界基準でない事が残念。施設認証制度が世界的に通用する適合基準に今後なっていけることに期待します。
27	例えば、保険点数が付けば、病院への申請の足がかりになると思います。
28	4年間継続して技師会の精度管理に参加しなくてはならず、更に更新時にも基準は一緒ということは、永久に参加するということになりますよね。病院として、他の評価機構としては医師会の制度管理が絶対であり、永久に参加は難しい・・・。 当院では技師会は2年に1度参加していました。
29	あくまで一個人の意見ではあるが、やはり病院の経営人への認知向上とメリットがなければ普及は難しいのではないかと思います。
30	2年更新は、短い気がします。
31	施設認証を得ていない施設のアンケート結果を見たい。 また、施設認証制度を普及させるためには、認証のメリットが必要と思います。
32	施設認証制度を別に設けなくとも、毎年行っている精度管理調査に組み込んでしまえばいいような気がします。もともと精度管理調査に参加しなければ申請できない訳だし、申請書を書いたり、報告書の写しを準備したりする手間が省け認定を受ける側としてはその方が良いと思います。
33	生涯教育の履修が出来ていなかったために今年度は申請を行えなかったが、来年度の申請に向けて確実に履修していく
34	施設認証制度を取得している施設の検査精度が高いとアピールする。 世間、広く一般の方に、知っていただく方法として、テレビのコメンテーターに何気ない一言を、言っただけなら、その病院の検査値は信用される。 検査の精度、質が良い証明になる。つまり、取得している病院としていない病院の差別化ができれば、取得せざるを得ないのではないかと思います。 雑誌のいい病院の一つの材料になれば普及するのではないかと思います。
35	診療報酬、研究施設としてのデータ承認などこの認証を取得しなければ、条件を満たさないとすれば施設認証制度は普及すると思います。現在病院側に申請費を請求しても、「病院側にメリットがない」と言われているのが現状です。 (ISO15189 も現状同じです)
36	知名度を上げる 認証を受けるメリットの明確化

	料金設定の見直し
37	生涯教育や精度管理の研修会の基準を緩和した方がいいと思います。
38	診療報酬などに反映されるようなメリットがあれば普及すると思います。
39	職場管理者として、やらなければならないと思いつつ取り組めていない課題です。 病院内へのアピールできる少ないチャンスだとは思いますが。 ただし生涯教育に取り組んでいるスタッフが不在で現実的には困難です。 その辺の意識改革が必要です。
40	診療報酬に反映される等のメリットが必要
41	申請料が高いので安くする。 取得施設に保険点数等でメリットがないと普及しないと思います
42	点数に反映されるとか報酬面のメリットがないと費用の承認が難しいのが現状です。普及にむけてはこういった点の改善をよろしくお願いします。

#### 多数意見

- ・費用の五万円が高い 12件
- ・PR 不足 8件
- ・生涯教育の履修がネック 8件
- ・診療報酬に反映 7件
- ・メリットが無い 10件
- ・2年更新が短い 2件